

久喜市地域公共交通計画策定について

(公共交通の現状と課題)

令和6年3月13日

久喜市地域公共交通会議

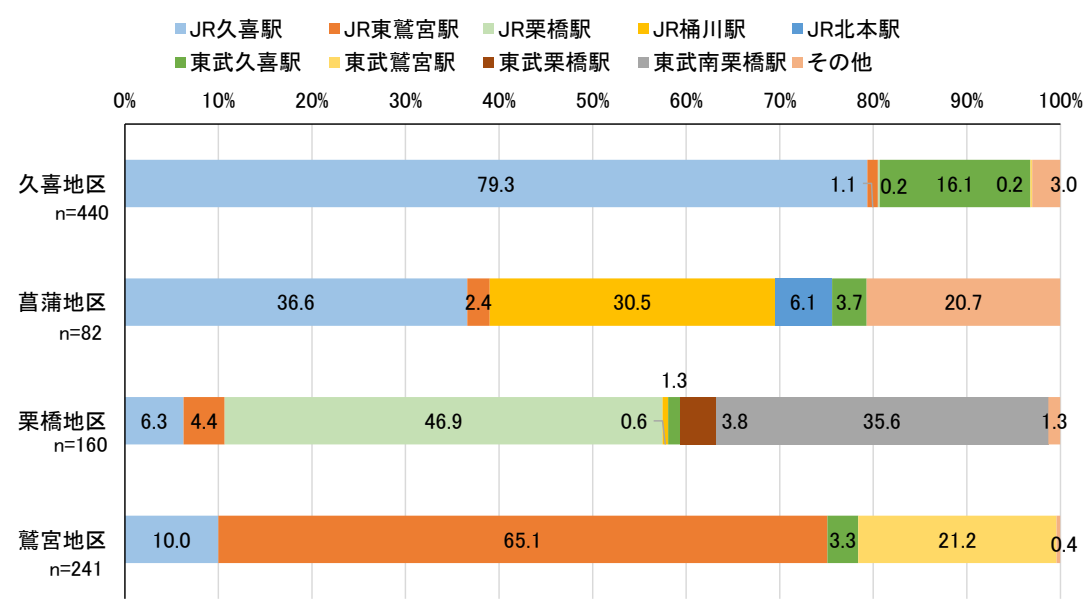
目 次

1.久喜市の公共交通（鉄道等）の現状	1
2.久喜市が運行する公共交通の現状	2
3.久喜市が運行する公共交通の課題	6
4.久喜市の今後のまちづくり	7
5.久喜市の今後のまちづくりに対する公共交通の課題	10
6.市民アンケートによる市民意識	11
7.市民アンケート結果からの公共交通の課題	13
8.課題のまとめ	14

1. 久喜市の公共交通（鉄道等）の現状

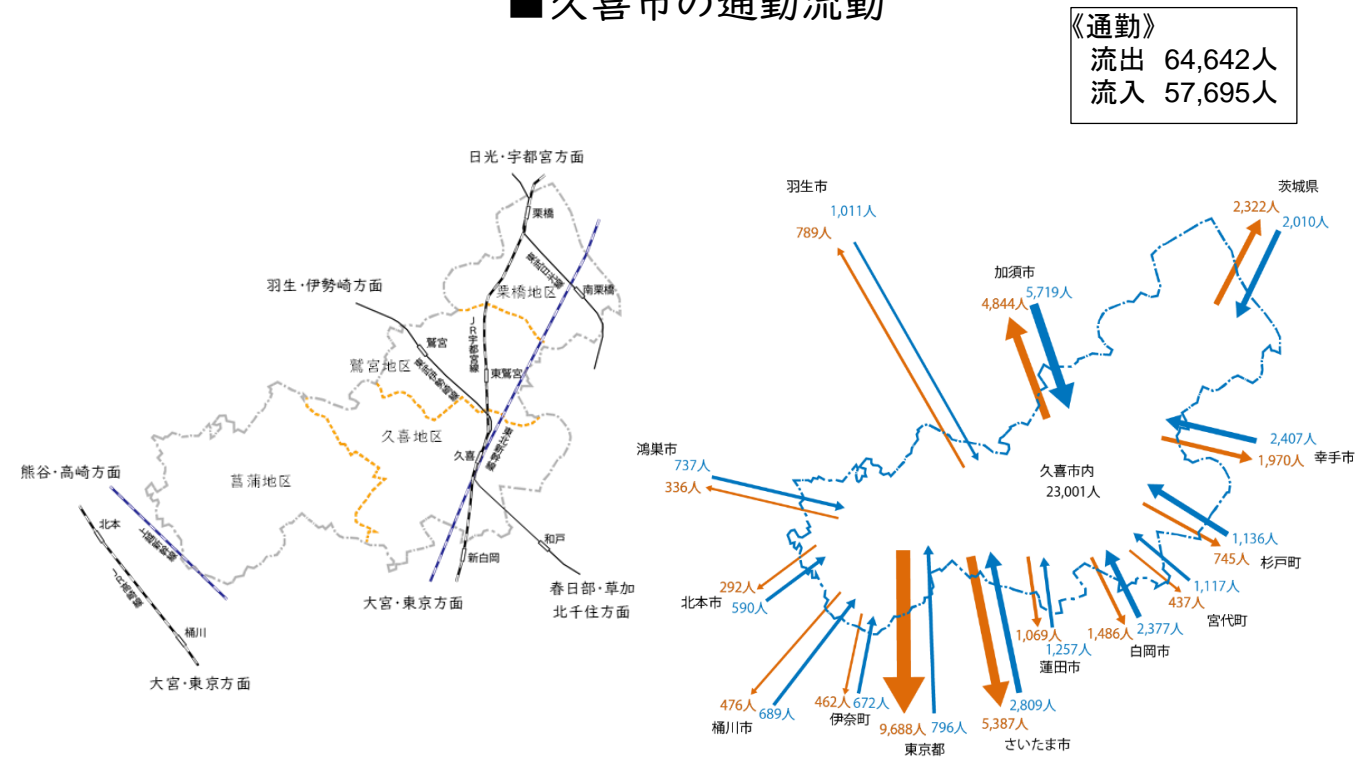
- ・ 鉄道は南北方向に発達し、JR線の利用が多く、鷲宮地区は東武線の利用が多い。
- ・ 菖蒲地区は、路線バスが運行している3駅に分散している。
- ・ 久喜市から東京都内、さいたま市への通勤者が多い。
- ・ 菖蒲地区にバスターミナルがあるが、夜行バスの利用のみとなっている。

■ 地区別の鉄道利用駅



出典: 本業務アンケート調査結果

■ 久喜市の通勤流動

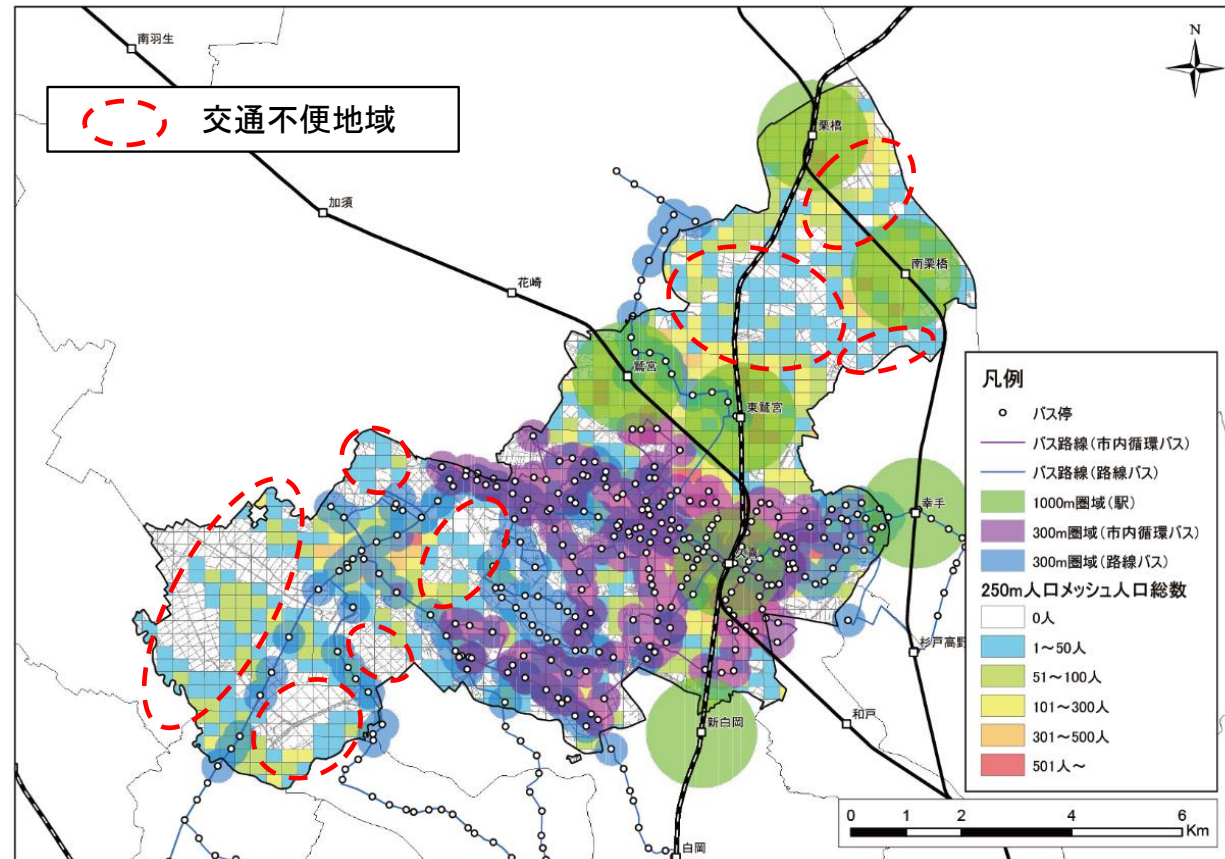


出典: 国勢調査(令和2年)

2. 久喜市が運行する公共交通の現状(1)

- ・ 鉄道やバス、市内循環バスの利用が不便な地域が、菖蒲地区や栗橋地区、鷲宮地区に存在
- ・ これらの地域は、比較的人口の集積が少ない
- ・ これらの地区はデマンド交通（くきまる）がカバー

■ 市内循環バスを加味した交通不便地域と人口の集積状況



2. 久喜市が運行する公共交通の現状(2)

- ・ 地区や年齢により利用できる公共交通手段が異なる
- ・ 市内循環バスは久喜地区と菖蒲地区及び鷺宮地区の一部を1回100円で運行
- ・ デマンド交通（くきまる）は久喜地区以外を1回300円運行（新久喜総合病院は600円）
- ・ くきふれあいタクシーは、市内全域をカバー、利用できるのは75歳以上と障がい者等
- ・ ルートの偏りや利用できる公共交通の差を不便と感じる声がある
- ・ 障がい者や要介護者に対しての料金優遇措置はあるが、妊産婦等には無い

■地区ごとの利用可能な公共交通

久喜市の公共交通

	鉄道	路線バス	市内循環バス	デマンド交通（くきまる）	くきふれあいタクシー
久喜地区	○	○	○	×	○
菖蒲地区	×	○	一部地区	○	○
栗橋地区	○	×	×	○	○
鷺宮地区	○	○	一部地区	○	○

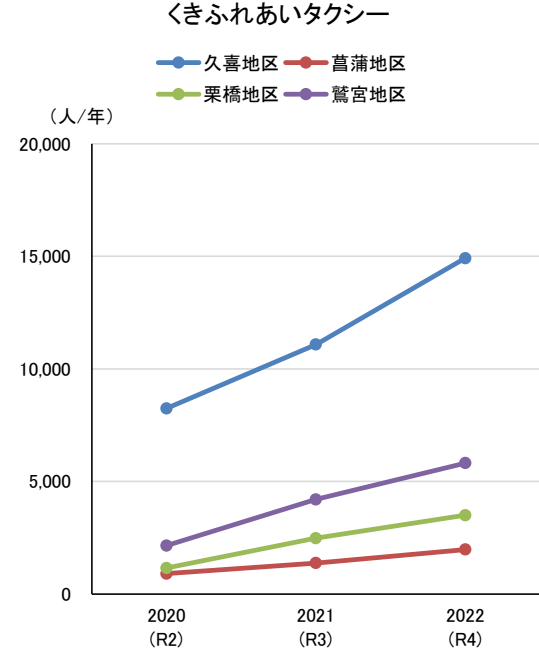
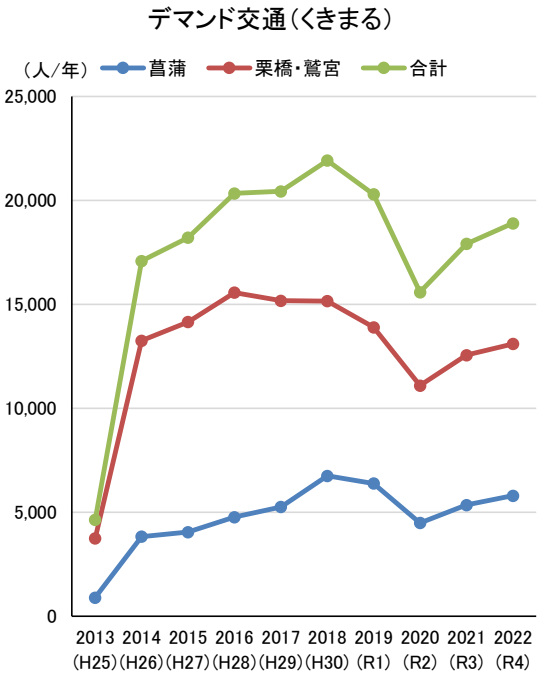
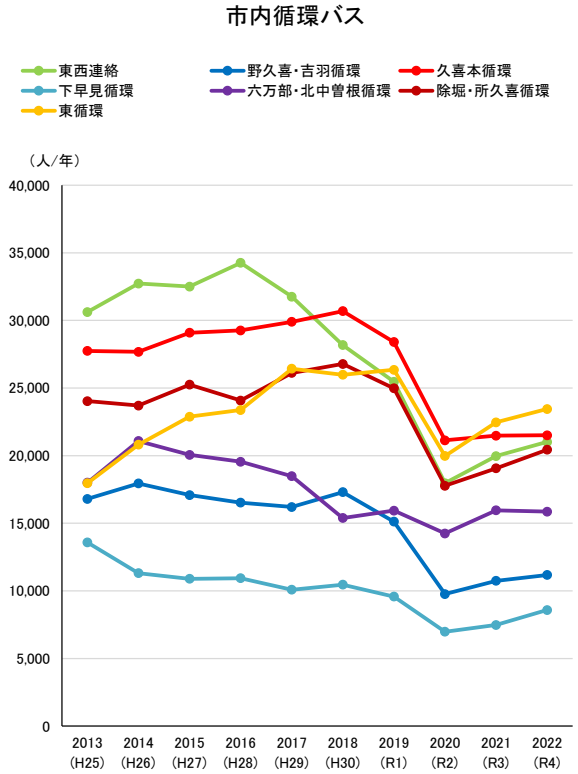
■久喜市が運行する公共交通の運行内容、料金など

交通手段	市内循環バス	デマンド交通（くきまる）	くきふれあいタクシー
利用対象	だれでも利用可能	市内在住、在勤、在学者	市に住民登録のある75歳以上の障がい者手帳を持っている方等
運行日	月曜日～土曜日	月曜日～土曜日	月曜日～土曜日
運行時間	7時台～19時台	7時台～17時台 (12時台を除く)	9時～17時
料金	1回100円	1回300円 菖蒲地区～新久喜総合病院 (1回600円)	料金区分に応じ 利用者負担率で計算
支払方法	現金、回数券	利用券、回数券	現金、タクシー券 事業者により キャッシュレス決済可能
無料の対象	身体障害者手帳1級、2級、3級、療育手帳④、A、B、精神障害者保健福祉手帳1級、2級、上記同伴者1名、保護者1人につき引率する小学生未満1人及び0歳未満小児	保護者1人につき引率する小学生未満1人及び1歳未満小児	【割引等】 ・障がい者割引が該当者に適用 ・福祉タクシー利用券は、利用者支払額から差し引く
半額の対象	なし	80歳以上 身体障害者手帳1級、2級、3級、療育手帳④、A、B、精神障害者保健福祉手帳1級、2級、上記同伴者1名	

2. 久喜市が運行する公共交通の現状 (3)

【年間利用者数の推移】
 市内循環バス : 令和4年度時点では、東循環の利用が最も多い
 デマンド交通 (くきまる) : 栗橋・鷲宮地区の利用が多く、コロナ後の回復傾向も顕著
 くきふれあいタクシー : 利用者は増加傾向で、久喜地区の増加傾向が高い

■ 久喜市が運行する公共交通の年間利用者数の推移



出典: 久喜市資料

2. 久喜市が運行する公共交通の現状(4)

【久喜市が運行する公共交通の運営状況（令和4年度）】

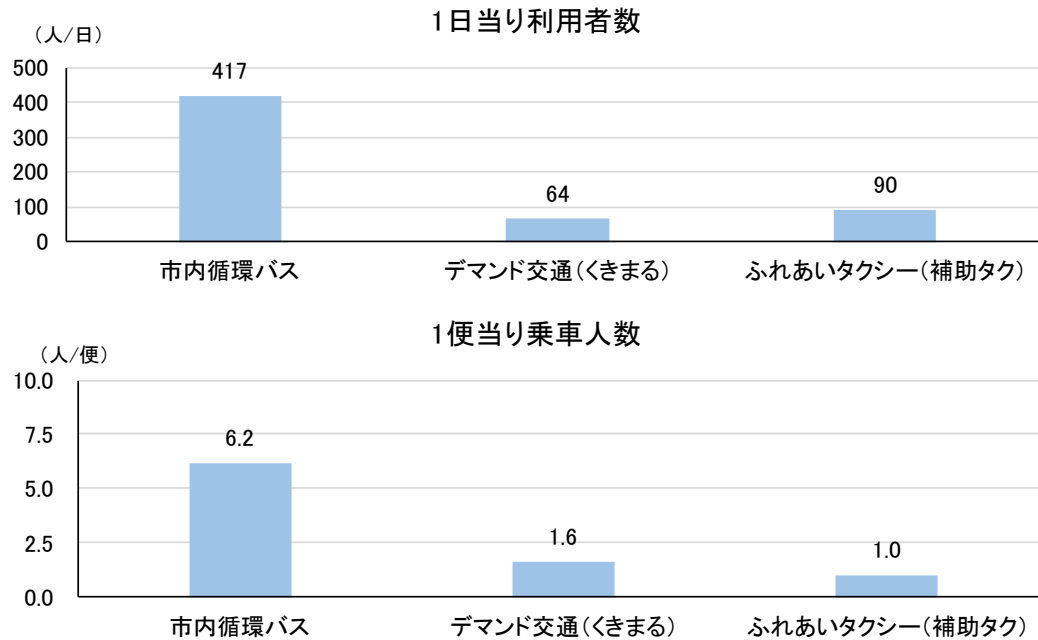
1日当り利用者数：市内循環バスが417人と最も多く、その他は100人以下

1便当り利用者数：デマンド交通が1.6人、くきふれあいタクシーは1人での利用が多い

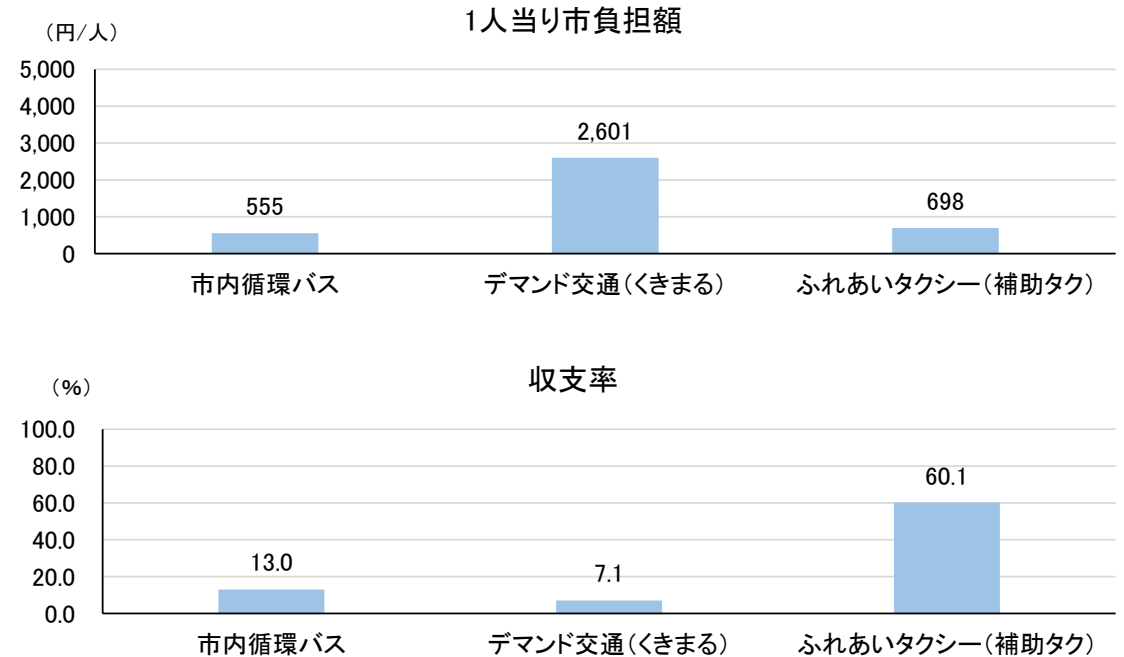
1人当り市負担額：デマンド交通が2,601円と最も高い

収支率：料金に応じた負担率のあるふれあいタクシーが60%と高く、その他は10%前後

■ 久喜市が運行する公共交通の利用状況



■ 久喜市が運行する公共交通の運営状況



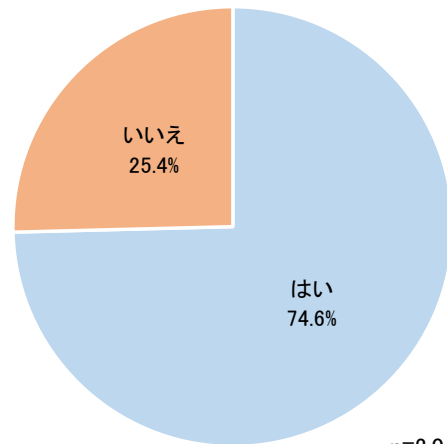
3. 久喜市が運行する公共交通の課題

- ・ 社会情勢の変化や利用者のニーズに応じた公共交通の見直し
- ・ 情報提供の拡充等による久喜市が運行する公共交通の認知度及び利用率の向上
- ・ 市の負担額と収支率の改善

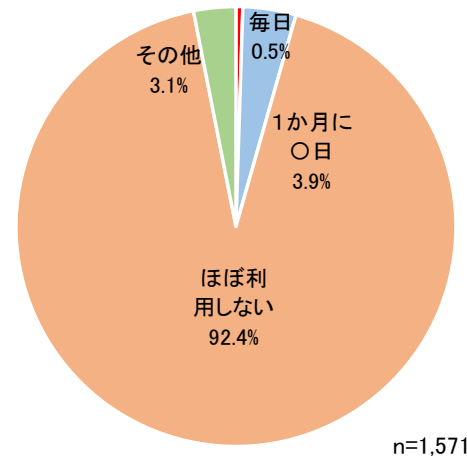
■ 久喜市が運行する公共交通の認知状況

【市内循環バス】

市内循環バスの認知度

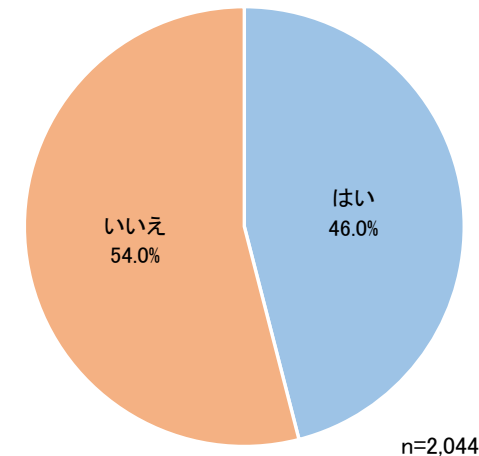


市内循環バスの利用頻度

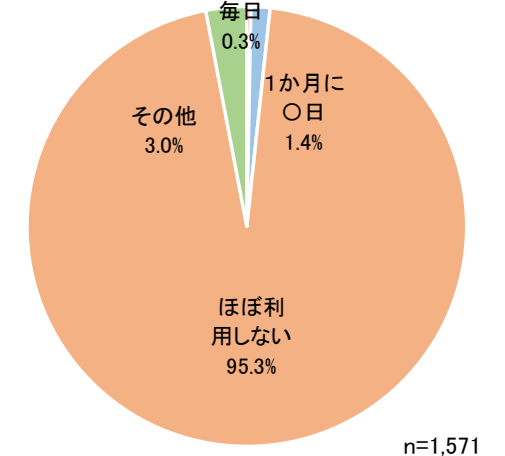


【デマンド交通(くきまる)】

デマンド交通(くきまる)の認知度



デマンド交通(くきまる)の利用頻度



出典：本業務アンケート調査結果

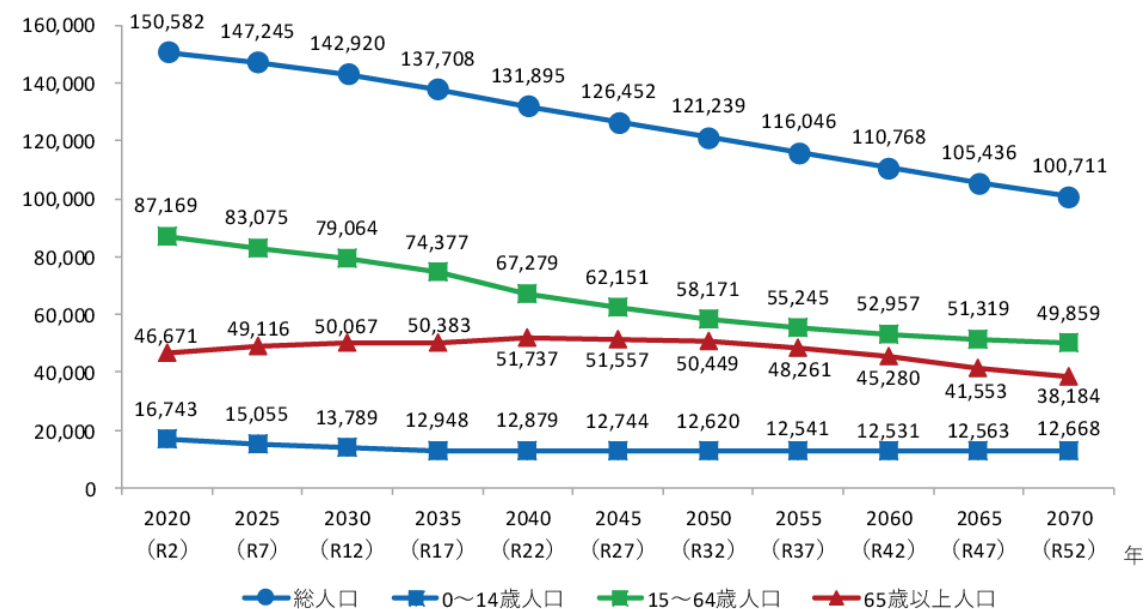
4. 久喜市の今後のまちづくり(1)

【久喜市の将来目標人口】

- ・ 移住・定住の促進や、子育て支援の充実等を通じて一定規模の人口を維持することを旨とする

令和14（2032）年目標人口：141,000人
（第2次久喜市総合振興計画基本構想）

■ 久喜市の将来人口の推移



出典：久喜市人口ビジョン（令和4年12月）

4. 久喜市の今後のまちづくり(2)

【久喜市の将来都市構造】

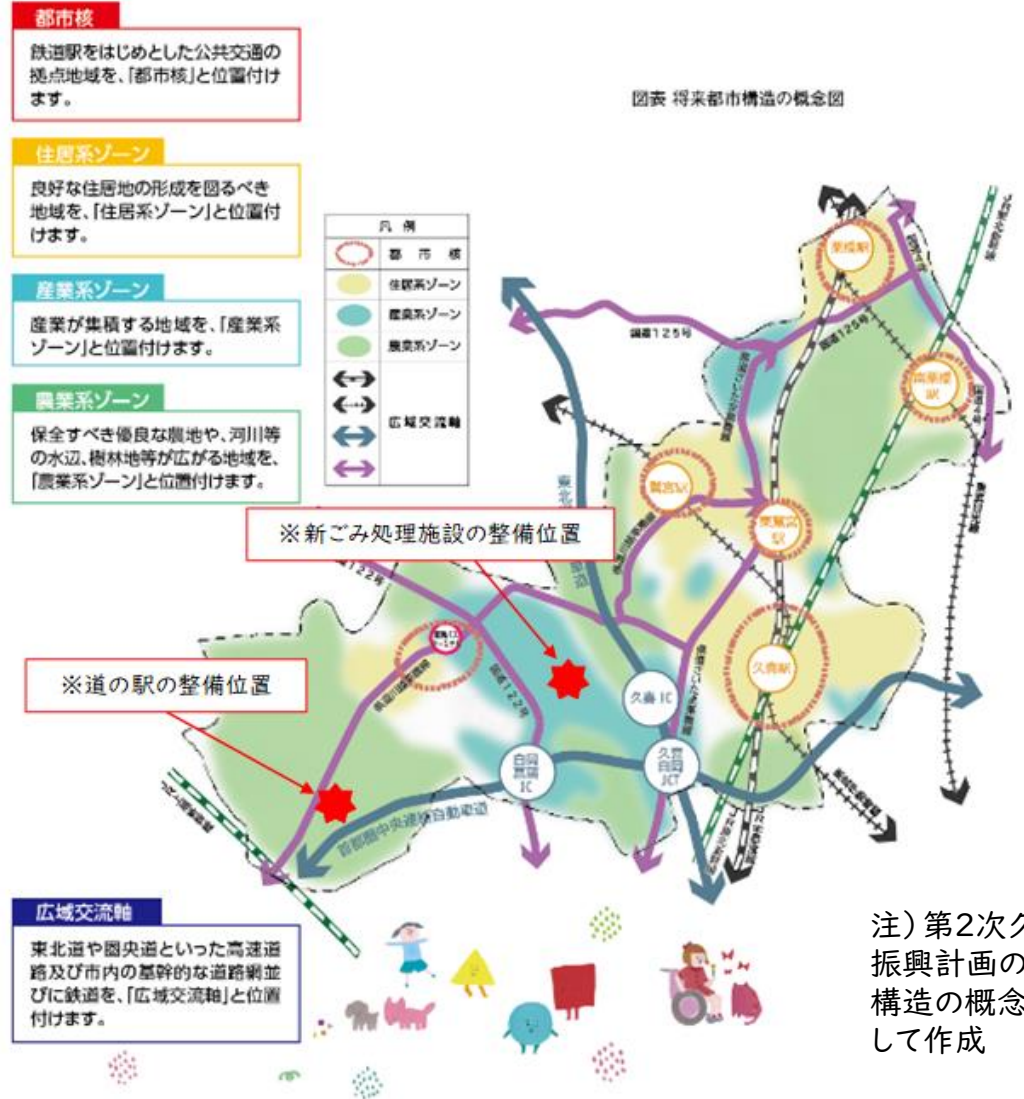
- 6つの「都市核」
 - ・ 鉄道駅をはじめとした公共交通の拠点地域
- 3つのゾーン
 - ・ 住居系ゾーン、産業系ゾーン、農業系ゾーン

【基本目標】

- 「豊かな自然と調和し便利で快適な住み心地よいまちをつくる」
- ・ 高齢者等の交通弱者の増加に対応するため、市が運行する公共交通の利用促進、利用者ニーズを踏まえた必要な見直しを図る

出典：第2次久喜市総合振興計画(令和5年3月)

■久喜市の将来都市構造



4. 久喜市の今後のまちづくり(3)

令和9年度、菖蒲地区に2つの新たな公共施設を整備予定

- ① 農業振興拠点となる道の駅
- ② 市民に開かれた新たなごみ処理施設及び(仮称)本多静六記念市民の森・緑の公園

■ 道の駅

・道の駅の基本機能と農産物直売所など地域の農業資源を活かした農業振興施設、スポーツ振興施設、防災機能を併せ持った施設整備を予定



出典: 農業振興拠点(道の駅)基本構想(令和5年8月)久喜市

■ 新ごみ処理施設及び(仮称)本多静六記念市民の森・緑の公園

・市内3つの清掃センターの統合
・市民に開かれた施設として、余熱処理施設や(仮称)本多静六記念市民の森・緑の公園と一体的に整備

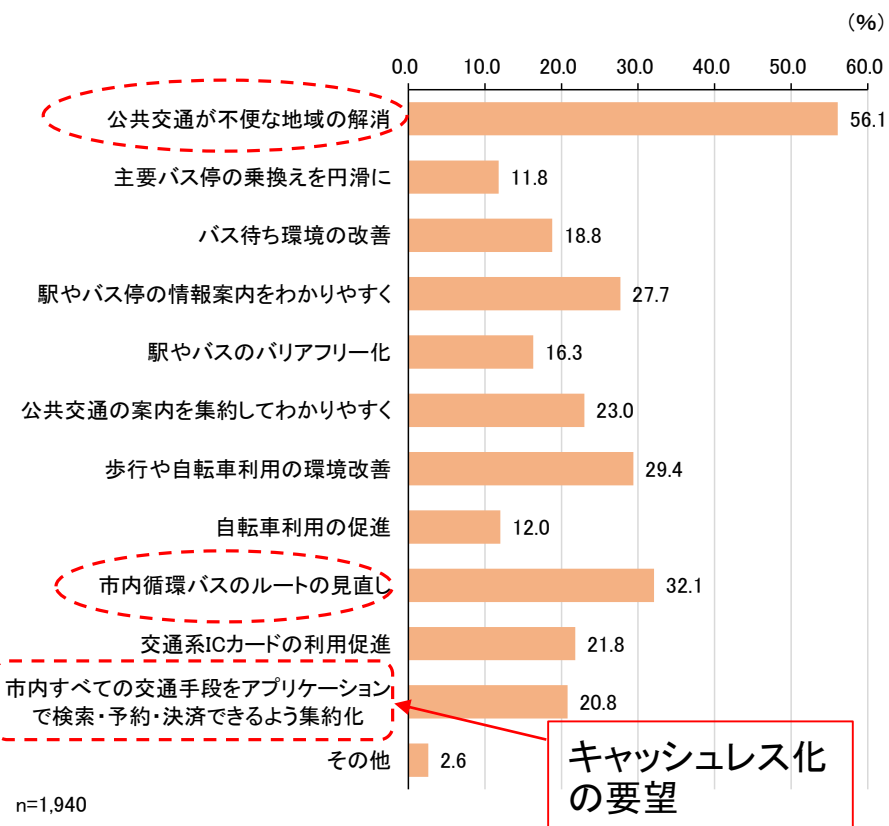


出典: (仮称)久喜市新ごみ処理施設整備工事概要(久喜市)

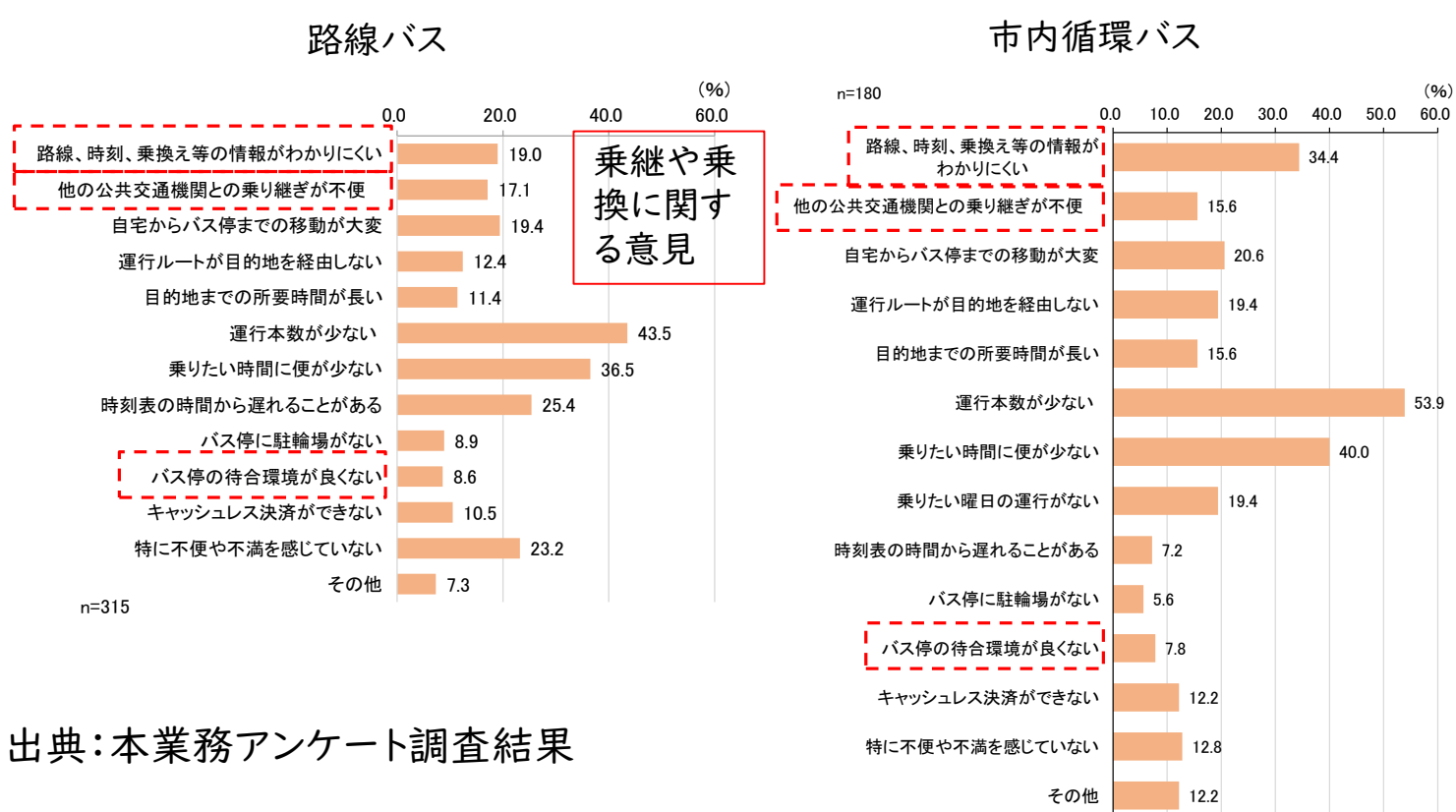
5. 久喜市の今後のまちづくりに対する公共交通の課題

- ・ 駅などの公共交通の拠点地域への移動における利便性の向上
- ・ 新たに整備される公共施設へのアクセス性の確保
- ・ 各施策と連携した交流人口等の拡大

■ 今後市に推進を期待する施策



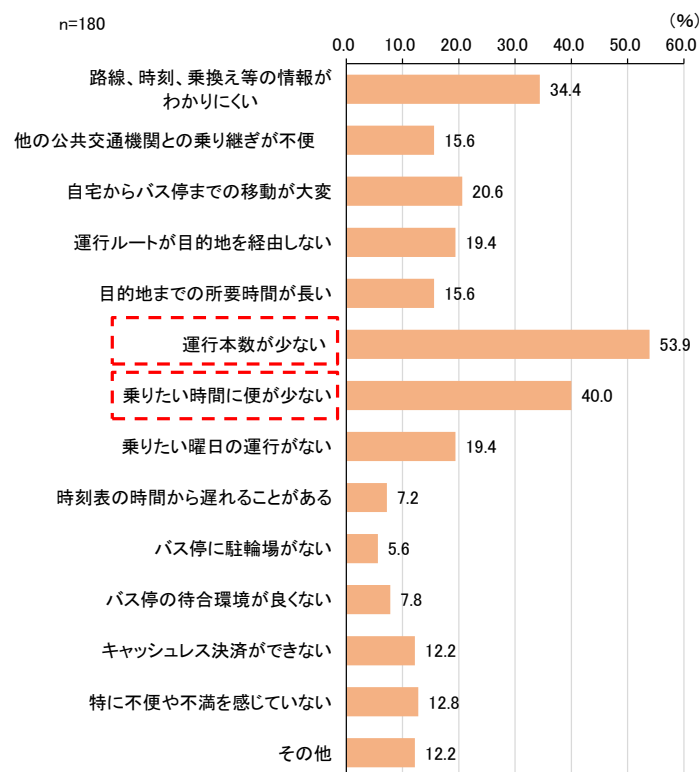
■ 既存公共交通の不便や不満点



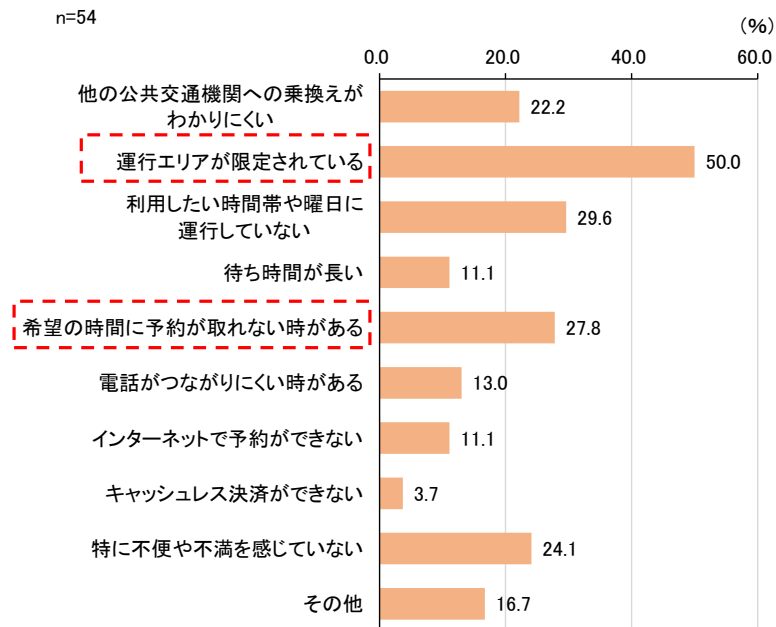
6. 市民アンケートによる市民意識(1)

- 久喜市の運行する公共交通の不便や不満に思っている点
 - 市内循環バス : 運行本数が少ない、乗りたい時間に便がない
 - デマンド交通 (くきまる) : 運行エリアが限定、希望時間に予約が取れない
 - くきふれあいタクシー : 利用したい時間帯や曜日に運行していない

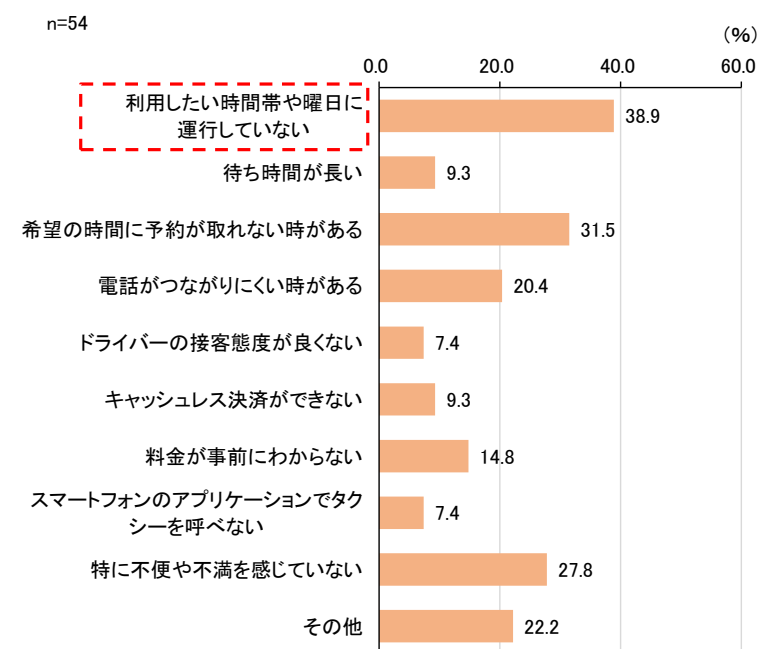
■ 市内循環バスの不便や不満点



■ デマンド交通の不便や不満点



■ ふれあいタクシーの不便や不満点



出典:本業務アンケート調査結果

6. 市民アンケートによる市民意識(2)

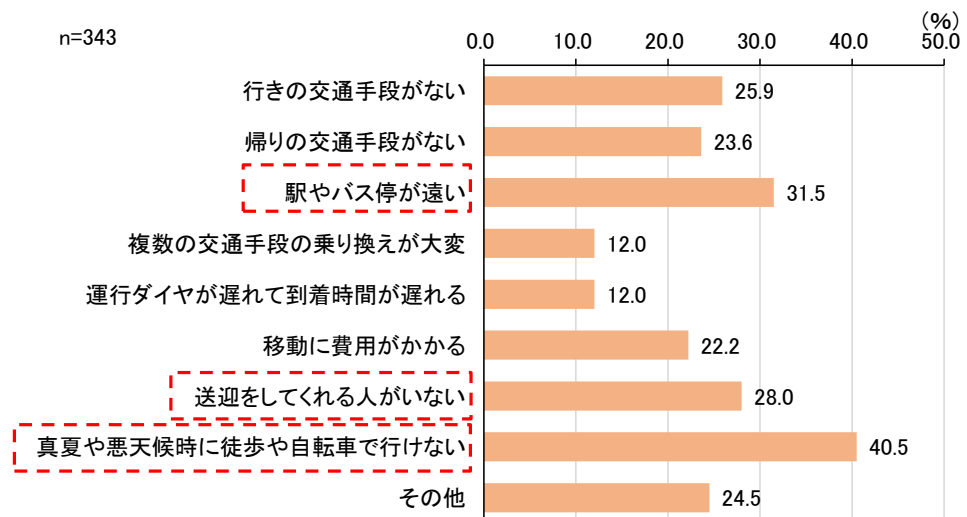
【外出時に困る理由】

・「真夏や悪天候時に徒歩や自転車で行けない」、「駅やバス停が遠い」、「送迎してくれる人がいない」等が多く、公共交通が利用できず、徒歩や自転車に頼っている実態が示されている。

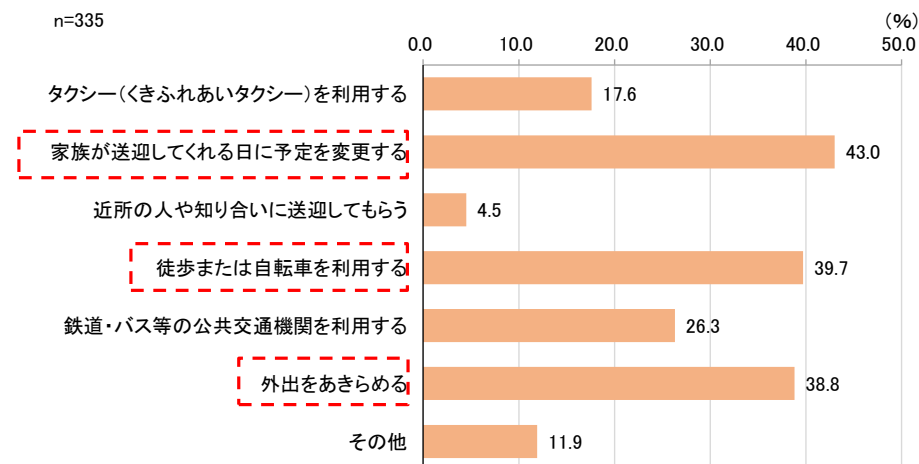
【外出時に困った時の対応】

・「家族が送迎してくれる日に予定を変更する」が最も多いが、送迎してくれる人がいない場合には、「徒歩または自転車を利用する」、「外出をあきらめる」なども同等に多い。

■ 困ることの理由



■ 困った時の対応

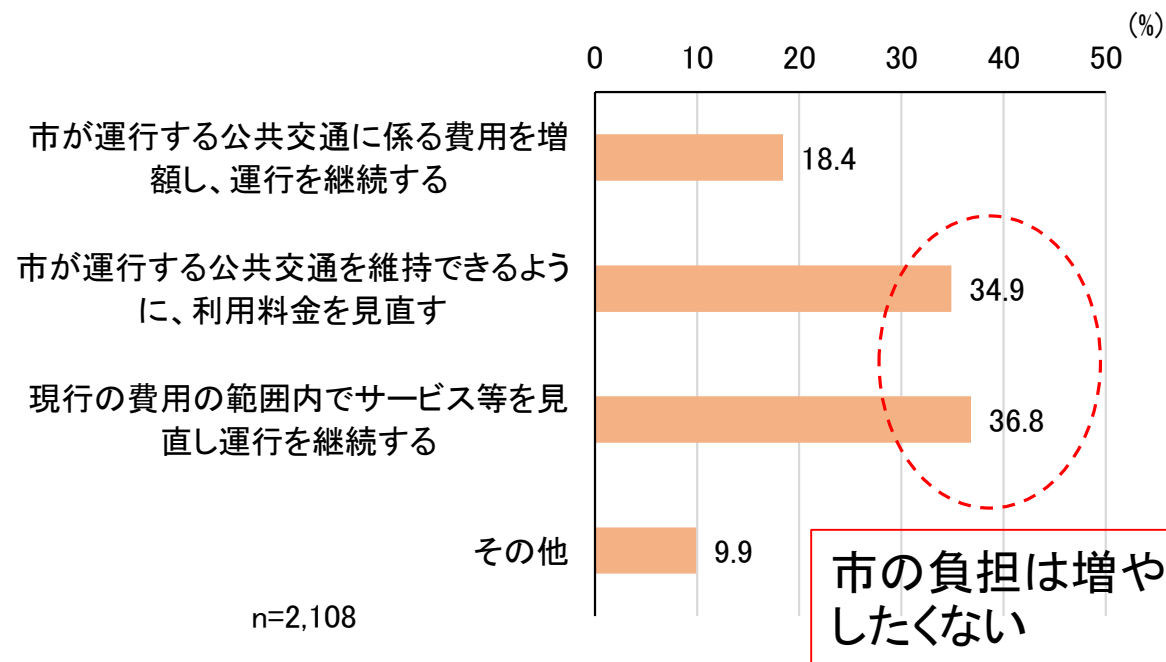


出典:本業務アンケート調査結果

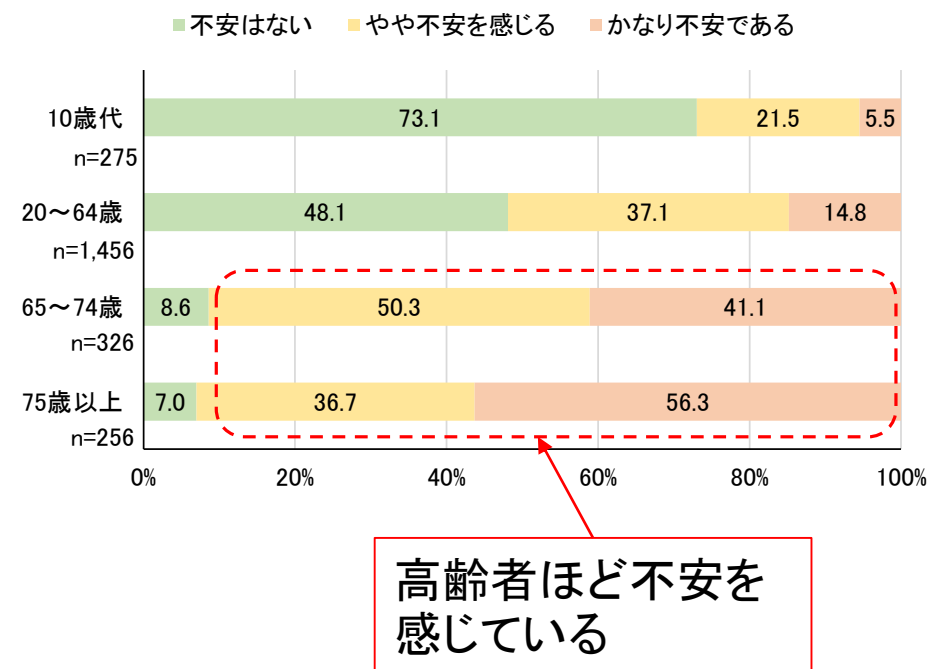
7. 市民アンケート結果からの公共交通の課題

- ・ 外出時交通手段に困った人、特に送迎してもらえない人への日常的な移動交通手段の確保
- ・ 将来高齢になっても外出しやすい、安心して利用できる公共交通の確保
- ・ 「料金の見直し」や「現行の費用の範囲内のサービス等の見直しによる運行継続」

■ 市が運行する公共交通の今後について



■ 10年後の移動手段についての不安



出典: 本業務アンケート調査結果

8. 課題のまとめ

【公共交通の現状からの課題】

- ・ 社会情勢の変化や利用者のニーズに応じた公共交通の見直し
- ・ 情報提供の拡充等による久喜市が運行する公共交通の認知度及び利用率の向上
- ・ 市の負担額と収支率の改善

【今後のまちづくりに対する公共交通の課題】

- ・ 駅などの公共交通の拠点地域への移動における利便性の向上
- ・ 新たに整備される公共施設へのアクセス性の確保
- ・ 各施策と連携した交流人口等の拡大

【市民意識からの公共交通の課題】

- ・ 外出時交通手段に困った人、特に送迎してもらえない人への日常的な移動交通手段の確保
- ・ 将来高齢になっても外出しやすい、安心して利用できる公共交通の確保
- ・ 「料金の見直し」や「現行の費用の範囲内でのサービス等の見直しによる運行継続」